



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

# The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「世を照らす光となろう」	“Be the Light of World”
アジア地域会長主題	「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」	“Years Bring Wisdom”
西日本区理事主題	「先頭にたつてワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」	
	“Let's Ysmen Light Shine before Others, in the Club, in the Community, in the World”	
中部部長主題	「前へ! 声を掛け合い1」	“Go forward! Call Together”
金沢クラブ会長主題	「より楽しく・より豊かに 伝えようワイズワールド」	

## 2013 1 月間強調

## IBC・DBC

今日の聖句		1月強調月間									
<p>イエスはお答えになった。 「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。』と書いてある。」 マタイによる福音書 4章4節</p>		<p>IBC・DBCは交流が広がるツールです。ワイズの楽しさを最大限感じるために無締結クラブをなくしましょう。 石田由美子交流事業主任(宝塚クラブ)</p>									
<h3>1月例会プログラム</h3> <p>と き 2013年1月17日(Thu.) 18:30~20:30 と ころ 金沢ニューグランドホテル 会 費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000(ネット)</p> <p>開会・点鐘 司会 数澤輝夫君 主 題 幸正一誠会長 ワイズ・ソング 司 会 者 今月の聖句 一 同 ハッピーバースデー 司 会 者 ゲスト紹介 幸正一誠会長 食前の感謝 山本達也君 西尾一朗君 ~~~~~ 会 食 ~~~~~ スピーチ 「焼き物の歴史的考察」 長谷川塑人氏 委員会報告 各 委 員 ニコニコタイム 伊藤仁信君 Y M C A の 歌 一 同 閉会・点鐘 幸正一誠会長</p>		<h3>12月クラブ活動状況</h3> <p><b>第1例会</b> (12月20日 Thu.) メ ン : 伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山本 (8名) 出席率 : 89 % メネット: 伊藤、数澤、高口、澁谷、山内、山本 (6名) ゲ ス ト : 内城牧師、荒川部長、朝倉氏、清水氏、影山氏、藤本氏 (6名) 金沢犀川クラブ (7名) コメント (1名)</p> <p><b>第2例会</b> (12月1日 Thu.) メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、西尾 (5名) メネット: 山内 (1名)</p> <p><b>ニコニコタイム</b> 23,811円 金沢YMCAを介して、東日本復興支援として同盟に寄贈 クラブファンド 累計 66,100円</p> <p><b>BFポイント</b></p> <table border="1"> <tr> <td>切手</td> <td>0 kg</td> <td>累計</td> <td>0 kg</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>0 円</td> <td>累計</td> <td>0 円</td> </tr> </table>		切手	0 kg	累計	0 kg	現金	0 円	累計	0 円
切手	0 kg	累計	0 kg								
現金	0 円	累計	0 円								
<p>会 長 幸正一誠 書 記 山内健司 副会長 澁谷洋太郎 会 計 高口昇 前会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子</p>		<p>第一例会: 毎月第三木曜日 18:30~20:30 金沢ニューグランドホテル Tel(076)233-1311 第二例会: 毎月1日 18:30~20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>									

## ピタゴラスの定理 ～世の中は儘ならず～

伊藤 仁信

私の趣味は複数ありますが日曜大工もその一つです。リタイヤーしてからは毎日日曜なので日曜大工ではなくなりました。頼まれれば何でも引き受けます。ただし、古来より名工(?)はその時の気分で仕事をするもので納期など考えないと言われておりますので、それを遵守していましたら身内からも依頼が無くなり自分で好きなものを作っております。その中で一つで一番長く取り掛かっており約8割位の出来ですが、物置場所作りについて勝手な独り善がりの苦労話をご紹介しますと思います。

私の性格は、断捨離ができないので家中物置になり歩くのにも困るようになっております。物置の増築と思いましたが土地に余裕がなく無理でした。それは3年前の事ですが、横になり天井を見ながら考えていたら天井裏が空いていることに気付きました。早速天井裏に上がり点検したら作れそうなので、すぐ準備に取り掛かりました。天井に物を隠す時は柱の多いところに置けと言う親父の遺言を思い出し、よく調べたらトイレ・バスルーム・洗面所などが多いことに気付きました。幸いに隣が作業部屋なので天井が万一落ちててもそんなに被害はないと診断しました。

実際に作業にとりかかると中腰でしかも50年近い古家なので埃が多いので掃除から始めましたが、目は痛いし咳は出るし遅々として作業は進みませんでした。前述の名工なので仕事場の環境が大事と清掃に延べ半年ほどしっかりと掛かりました。更に基本組み立てとして天井裏を補強(床板張りなど)する必要があるのです。縦材・横材を取り付けるのに約1年と延べ日数がかかりました。それで完成したのではなくこれからが遅々として進まなくなりました。

前置きが長くなりましたが、やっとピタゴラスが出てきます。場所は本来の屋根の下で、1階の天井の上(裏側)の空間ですが、柱とか斜めの梁とかいろいろの部材が縦横に走り、さらに経年の狂いがあり一歩動くにも柔軟体操をしながら足を練り出さないと動けない所です。採寸する時にピタゴラスの定理をよく応用しますが計算通りにはならず、斜めに湾曲したり左右の幅や長さが一致せず短すぎたり余ったりするので失敗の連続でした。

床面積は延べで4畳半くらいの広さですが埃や湿度を防ごうと思い自家製の空調をつけようとしたのですがこれも見事失敗し、斜面の長さを測るのにピタゴラスの定理通りには出来ませんでした。折角習った定理も

役に立たないので結局は身体を振りながら実測し、自己流の原始的な身体を使う方法で作業しました。その間失敗した無駄な材料がたまり、段ボール2個ほど11月の芋煮会に焚き火用に無償(?)提供し処理しました。比べる質が違いますが、奇しくも総選挙があり思いがけない大差で勝敗が決まりましたが、思う通りに運ばないのが世の常だと変な所で納得しております。

この様に一時が万事、私の日曜大工は大変な苦労を重ねながらそれでも継続して作っていますが、誰も評価してくれず(見栄えも悪く時間もかかるので当たり前だが)一人で褒めて満足している今日この頃です。しかし誰かが見守ってくれていると信じ、儘ならぬ人生もまた楽しい人生だと今年も波に揺られながら気ままに、身体の続く限り減げずに過ごしたいと思います。

### 長谷川 壘人氏 プロフィール

1935(昭和10)年 金沢市生まれ、幼少より絵画を好む

1954(昭和29)年 金沢市立工業高等学校機械科卒業

1956(昭和31)年 陶芸を志し梅山陶房に勤める

1964(昭和39)年 第20回金沢市創作工芸展初出品 入選

以後数多くの工芸展に出品・受賞

現在日本工芸会石川支部 常任理事

石川県現代美術展 評議員

金沢市工芸協会 参事

金沢市卯辰山工芸工房 講師

### 【12月例会報告】

今年のクリスマス例会は、このところ恒例となっている金沢犀川クラブとの合同で12月20日金沢ニューグランドホテルにて行われました。

数澤メンの総合司会により、幸正金沢クラブ会長の開会点鐘で始まりました。主題に続き「ワイズソング」では例会初のピアノ生伴奏つきで高らかに合唱しました。演奏者は金沢クラブの若きエース西尾メンでした。



ハッピーバースデーは金沢クラブの澁谷メネット、犀川クラブの北メネットのお二人をみんなでお誕生日を祝いました。続いて「讚美のとき」に移り、日本基督教団羽咋教会の内城 恵牧師から「くすしき主のみ恵」と題してクリスマスメッセージがありました。

今回の参加者は内城牧師・荒川中部部長・YMCA 2名・犀川クラブ7名（メン6名・メネット1名）・金沢クラブ15名（メン8名・メネット6名・コメット1名）・ゲスト2名の総勢28名でした。

食前の感謝の後、食事をとりながら金沢クラブ西尾メンのピアノ、金沢犀川クラブ竹中メンのフルートによるコラボレーションがあり、華麗なる数曲が祝会に華を添えました。

お楽しみの「親睦のとき」、いよいよ幸正会長曰く「恐るべし金沢アマブネスメネット会」山内メネットの企画・進行による恒例のゲームに入りました。今回新しく登場したゲーム名《とんとんぱっ!!》1mくらいの棒を両手で持ち、床にトントンと叩き、ぱっと両手を離し、次の瞬間自分の右の人の棒を倒さないように掴み、それを繰り返していく単純なゲームでしたがテーブル毎にチームを組み、輪になって棒をいかに倒さないかを争いました。体力と知力を結集？ホテルマンも円に加わり、その真剣さに大笑いして盛り上がりを見せました。



プレゼント交換では各自が1個用意した品物を全員で輪をつくり、「赤鼻のトナカイ」を歌いながら右へ順送りした品物を司会者のストップの合図で自分の手に渡った品物がプレゼントされました。楽しい時を過ごした祝会の終わりに近づいた時、長期に渡り金沢クラブで活躍、貢献されました影山メンが12月例会を最後に退会されることを幸正会長から報告されご本人からの挨拶がありました。（影山氏ご子息初参加で同席）私達は今後の健康を祈りつつ拍手で影山メンのこれまでのワイズスピリットに感謝しました。

続いて恒例になっているメネット会数澤会長から金一



封が幸正会長に贈呈されましたが、金沢クラブメン一同、今年もメネットの支援と活躍に感謝しています。お疲れ様でした。

また、ニコニコタイムでは集まった23,811円を昨年に引き続き、東日本大震災支援金として同盟に送金していただくよう朝倉金沢YMCA理事長に託しました。ご協力有難うございました。

最後に金沢犀川クラブ澤瀬会長の閉会点鐘で盛会裏に祝会の幕を閉じました。（文責 高口 昇）

### 賑やかなワイン会

大海原を航海しているわが金沢クラブ幸正丸は、帆を目いっぱいはり、荒波を切り裂き進んでおります。我が船長幸正会長は以前から心に秘めるものがあつたのか、単なる彼の性格に根差した思いつきなのかはつきりしませんが、急にお祭りがしたくなったのでしょうか「ボジョレーワインもそろそろ解禁なので、幸正丸はワイン会を催します」と宣言したのであります。我が金沢クラブの会員も会長と似た者の集まりであるのか、すぐに賛同され迷走が始まるのであります。そこはベテランの船頭が多い金沢クラブの面々、料理は幸正船長の役目に決定し、各自、異なるボジョレーワインを1本持参すること、会場は我が家にて開催、開催日は2012年11月29日と企画案が即座に決定されました。

当日は、金沢クラブの幸正船長の開催挨拶の後は、各自持参のワインのうんちくを語り食事をとりながら



ワインを堪能しました。少しアルコールが回りだしたところから、船頭の皆さん本領発揮です。船は帆あげて帆に風をいっぱい受け海上を走っています。音楽隊



の演奏、聖歌隊の歌声、大声での会話と大変賑やかであります。よく聴くと、西尾ワイズのショパンの演奏、朝倉金沢 YMCA 会長の歌声も喝采の中に混ざっております。

船員が気持ちよくうろろうし始めた頃合いを見て、金沢ワイズ号のワイン会は幸正船長の閉会の言葉にて終了となりました。皆さんの足元は少し不安な感じが漂っており、車の人は代行運転を頼みましたが、ご自分の車の後部座席にたどり着くまで、溝に落ちるのでとは心配された大変な方もいたとかいなかったとか、思えば素晴らしく、楽しい会でありました。

山本 達也 記

## ~~~~~ ネット報 ~~~~~

### カインとアベル

人類最初の殺人事件について聖書が記しています。アダムとエバの子、カイン（兄）は土を耕すもの、アベル（弟）は羊を飼うものとして成長しました。時を経て、カインは土の実りを、アベルは羊を主に捧げました。主はアベルとその捧げ物に目を留められました。カインとその捧げ物には目を留められませんでした。カインは怒り、弟アベルを殺害してしまいます。

主はどうして長子であるカインに目を留められなかったのか、その理由は聖書には記載されていません。しかし、アベルは「羊の群れの中から肥えた初子を持ってきた」とあります。この言葉から考えると、アベルは、彼が飼っていた羊の中で、最良のもの（一番大切なもの）を捧げたと推測することができるのではないのでしょうか。もうずいぶん前に見た映画の中で、カインが収穫したものの中から、両手ですくって主に捧げる分を分けていた時、更に加えようとした両手いっぱい収穫物を、ふっと手を留めて一瞬考え、元に戻してしまうという場面がありました。主に捧げる分をケチってしまったのです。聖書に記載されていないカインの心を、この映画の製作者はこのように表

## ~~~~~ お知らせ ~~~~~

### ☆1月例会にお持ちください

CS 1人 1,500円

BF 1人 1,500円 合計 3,000円

## ~~~~~ YMCAのお知らせ ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日時 2013年2月1日（金）6:00～

場所 金沢YMCA集会室

### ☆スキー教室

日時 2月16日（土）8:00～

場所 一里野温泉スキー場

### Hap 帆輪原 與 帛 帆 帛 帆 帆 帆 帆

メン 西尾 一朗君 1月13日

メネット 山内ミハルさん 1月10日

### 2月の担当

ブリテン執筆： 山本 達也君

高口 紀子さん

卓話担当： 伊藤 仁信君

原稿は1月25日までに山内までお願いします。

現したのです。イエス・キリストにレプタ2枚を捧げた女とは全く逆の行為でした。

私自身の日常生活のなかでも、カインと同じ気持ちがあることは否めない事実です。例えば、自分のためには贅沢をするくせに、「献身のしるしとして献金します」と祈りながらも、「これで勘弁していただく」という気持ちが働くのです。

また、カインは弟アベルを手にかけて後、主から「お前の弟アベルは、どこにいるのか」と尋ねられた時、「知りません。私は弟の番人でしょうか」と答えています。

私たちは勿論、殺人などということはしていませんが、言葉や態度で人を傷つけたり、悲しませたりすることはよくあることです。「知りません。私は〇〇の番人でしょうか」というのではなく、隣人の番人でありたいと思うのです。

新しい年、わたしたちはどんなに多くの恵みを神さまからいただいているか、今一度考えなおし、感謝の日々を送りたいものです。

(山内ミハル 記)